



「乱暴な言葉, 使っていない?」

一緒に考えるポイント① 乱暴な言葉を使ってしまっていることの「自覚」

  **らんぼうな言葉を使ってしまう時は**

あなたがゲームやスポーツをしていて、「らんぼうな言葉」を使ってしまう場面を考えてみましょう。
どんな時に、どんな言葉を使ってしまうでしょうか。

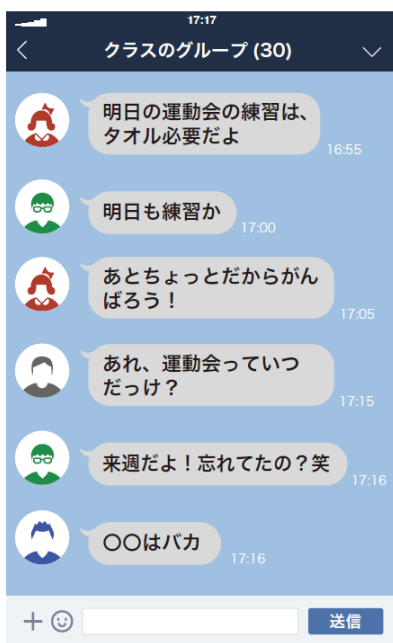
どんな時?

1 負けそうなき	2 負けたとき	3 ミスしたとき
4 こうげきされたとき	5 むずかしいとき	6 あおられたとき
7 こうげきするとき	8 回線がおそいとき	9 うまくいかなかったとき

どんな言葉?

一緒に考えるポイント② 「悪口を言われた時」の対応を考えておく

  **変なコメントが書き込まれたら**



みなさんのクラスのグループチャットに、「OOはバカ」という書き込みがありました。
あなたは、どのように対応しますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 「そんなこと言う人がバカじゃない?」と書く | 2 グループでは何もせずに、個別にチャットで注意する |
| 3 そのまま何もせずに、次の日に直接注意する | 4 グループから外す |



情報モラル 育成ガイド



自分で考え、上手に活用できているレベル

- 自分で目的を意識して、タブレットやスマホ、ゲーム、持ち帰った端末を活用できている。
- スマホやゲーム以外にも楽しめるもの、夢中になれるものがある。
- 困ったときだけでなく、いろいろなことを保護者に話してくれている。
- 自分のことだけでなく、友達やクラスのよりよい使い方も考えている。



保護者が管理しなくても活用できているレベル

- 保護者が言わなくても、タブレットやスマホ、ゲームに関するルールを守ることができている。
- 持ち帰った端末を子ども自身が管理できている。
- 困ったときには保護者に相談することができている。
- 子どもがタブレットやスマホでどんなことをしているか話してくれている。



保護者が管理すれば活用できているレベル

- タブレットやスマホ、ゲームに関するルールがある。
- 保護者が言えば、持ち帰った端末を管理できている。
- 保護者が言えば、ルールを守ることができている。
- 子どもがタブレットやスマホでどんなことをしているかがなんとなくわかる。



何も管理していないレベル

- タブレットやスマホ、ゲームに関するルールがなく、自由に使い続けている。
- 保護者が何度言っても言うことを聞かず、ケンカになることも多い。
- 持ち帰った端末を管理できているかわからない。
- 子どもがタブレットやスマホでどんなことをしているかわからない。